

医 原

「変わったる!?」
と言われて!

大人のアスペルガーを考える

社会で暮らす大人のアスペルガー症候群の人たちをめぐる問題を三回にわたって紹介してきた。まとめに代えて、成人の発達障害外来、デイケアに取り組む昭和大付属烏山病院(東京)の加藤進昌病院長に話を聞いた。

(菅原千晶)

「どんな人が来院しますか。」

二十一四十代の男性が多いですね。その半数は失職しています。今は、インターネットの情報で自分の発達障害に気付く人が増え、中には、アスペルガー症候群の傾向を調べる「自閉症スペクトラム指数」(AQ)を自己採点してくる人もいます。引きこもりや家庭内暴力などの問題を起こして、家族が連れてくる場合もあります。

「診断の方法は。」
本人や家族に、三歳ごろまでに他人との関係やコミュニケーションの問題がなかったか、反復的行動やこだわりなどのエピソードはあったか、などを聞きま。診断できる精神科医の数が絶対的に少ないのが問題です。

4 インタビュー

AQも使いますが、単なる目安の一つです。

「アスペルガーと診断された人の反応は。」

「他の人と同じか違う?」「いじめられる理由が分からなかった」と思っていた人の中には、診

昭和大付属烏山病院



加藤進昌院長

「他の人と同じか違う?」「いじめられる理由が分からなかった」と思っていた人の中には、診

断されて納得した、安心したという声がある一方、「障害者の烙印を押された」ととらえる人もいます。否定的に受け止めないように説明する配慮が必要です。

「アスペルガーの原因は分かっているのですか。」
脳の機能障害といわれますが、どの部分かについての定説はまだありません。遺伝的な形質があるといわれています。

「二次障害の問題をよく聞きますね。」
元の障害が原因で、会社や家庭などで対人関係がうまくいかず、心の傷が深くなり、うつ病や強

かとう・のぶまさ 1947年、愛知県稲沢市生まれ。東京大医学部卒。滋賀医科大教授、東大教授などを経て、2007年から昭和大医学部精神医学教室教授兼付属烏山病院長。著書に「ササッとわかる『大人のアスペルガー症候群』との接し方」(text 精神医学)など。

のもいいです。

「周囲への助言は。」
「イヤイヤしたり困ったりしている家族もいると思います。いい面を前向きに見てほしい。何かを伝える時は、直接的な表現を心掛けるといいですね。」

職場でも、障害を理解することが何より大切で、対外交渉のような不向きな仕事は避けるべきです。でも、根気もあり、技術畑で評価を受けている人も多いし、アスペルガー症候群とみられる偉人もいます。ビジネスの難局を突破する際には異能が必要で、優れた能力を活用しない手はありません。

優れた能力活用しよう

「おわり」

孤立感防ぐ支援の充実を

「有効な支援は。」
社会生活を送る上で必要な技術を訓練する「デイケア」が有効ですが、大人の発達障害に対応する機関はまだほとんどありません。診断を受けても、支援を受けられない人が多いことも問題です。一般の人が容易に分かることを分らないという、一種の認知の問題ですから、支援は早いほどいいのですが。

「アスペルガーの人たちへの助言を。」
発達障害は本人のせいではありません。いじめられて不登校になるなど、自己評価が下がっている人も多いと思います

「アスペルガーの人たちへの助言を。」
発達障害は本人のせいではありません。いじめられて不登校になるなど、自己評価が下がっている人も多いと思います

リハビリのほなし

膝とともに、体重がかかるのが股関節。女性に多い「変形性股関節症」は、関節の間にある軟骨が摩耗して発症します。

変形性股関節症

この病気の大半は二次的なもので、先天的な股関節脱臼や、骨盤を形成する臼蓋の形成不全が原因になります。軟骨の破壊に続いて、関節に水がたまり、骨が破壊され、変形していきます。放置しておくと、関節が動きにくくなり、正座ができない、靴下がはけない、階段を手すりなしでは上れない、階段を手すりなしでは上れないといった状態になってしまいます。骨の変形で足の長さが変化することもあります。

体重減らし中殿筋を強化

治療では、進行を止めるための理学療法が行われます。体重を減らす、歩きすぎない、重いものを持たない、杖を使うなどして関節に負担がかからないようにします。股関節の側面にある中殿筋の筋力を強くすることも重要です。中殿筋の働きが弱いと、片足立ちしたときに体重がかかる側の足の骨盤が下がってしまう現象が見られます。これを「トレンデレンブルグ徴候」といい、この病気の検査に用いられます。筋力を強化する方法は意外に難しいものです。ぜひ理学療法士にご相談ください。(日本理学療法士協会 福井勉)